

サムエル薬師が丘保育園の坂 衣里菜保育士が ボートで国体「ぎふ清流国体」に出場します。



サムエル薬師が丘保育園の坂 衣里菜保育士が、第 67 回国民体育大会「ぎふ清流国体」に、ボート(漕艇)競技の広島県代表として出場します。



川辺漕艇場で配艇練習をする坂先生のチーム

坂先生が出場する種目は、成年女子の舵手つきクォドルプルです。2本のオールを持つ4人の漕手と舵手(コックス)1人の5人で構成され、クルー全員のチームワークで速さを競います。坂先生は、かけ声をかけ、舵を取り、レースメイキングをしていく重要な役割のコックスです。

坂先生がボート競技に出会ったのは宮島工業高校1年生の時。友人に誘われてこの競技を知り同高のボート部に入部しました。2年生の時に初の大舞台インターハイに出場、成績は4位でした。短大に進学した2009年の新潟国体では11位になっています。

競技会場は岐阜県川辺町の川辺漕艇場。10月2～4日までが公式配艇練習日で、5～8日が試合です。今国体の舵手つきクォドルプルには全国から20チームが参加、8位までが入賞(皇后杯)です。普段は福山を拠点に芦田川で練習、「社会人や大学生の混成チームなので、なかなか全員の練習日程が合わず、全選手そろって練習することはできなかったけど、上位入賞を目指します」と坂先生。優しさの中にも闘志いっぱいです。

フットワークが軽くいつも元気な先生で、かぜ組の担任を務めています。かぜ組の子どもたちも先生が岐阜に行ってから「先生がんばって」と毎朝お祈りしています。

“トロフィ目指してファイト！”